

一般社団法人日本医真菌学会 2021 年度第 2 回理事会議事録

日時：2021 年 2 月 3 日（水）18：00～20：50（オンライン開催）

出席：

澁谷和俊（理事長）

泉川公一、大野尚仁、亀井克彦、神田善伸、杉田 隆、原田和俊、福田知雄、槇村浩一、
宮崎義継、望月 隆 以上理事 11 名

小川祐美、村山琮明 以上監事 2 名

金子健彦、若山 恵、掛屋 弘 以上幹事 3 名

欠席：

山岸由佳（幹事）

議題：

（報告）

1. 前回理事会および代議員総会議事録確認（宮崎総務理事）

昨年 10 月開催の理事会準備会、理事会、代議員総会議事録の確認を行った。

2. メール審議結果報告（澁谷理事長）

2021 年度第 1 回～4 回のメール審議結果を確認した。

3. 会員異動報告（宮崎総務理事）

2020 年 12 月 31 日現在の会員数は、個人会員 825 名（国内 824、海外 1）、顧問会員 1 名、奨励会員 27 名、名誉会員 25 名（国内 23、海外 2）、功労会員 37 名、賛助会員 16 社（42 口）、団体購読 21 名であることが報告された。3 年以上の会費未納者について退会処理をしたことで会員数が大幅に減少した。

4. 各種委員会報告

1) 委員構成の確認

各委員会委員の選任を行った。亀井理事から日本医学会 COI ガイドラインにおける委員会の組織に関して発言があった。ガイドライン作成にあたっては、統括委員会（ガイドライン検討委員会が相当する）と作業班（各ガイドライン策定委員会が相当する）に加えてシステムティックレビュー班と外部評価委員を設置することが推奨されている。掛屋幹事より希少深在性真菌症の診断・治療指針ではシステムティックレビュー班を設置したことが報告された。外部評価委員の設置はなく、今後の検討事項とした。

2) 編集委員会（宮崎理事）

i. 2020 年 10 月～2021 年 1 月までの論文投稿状況について報告があった。

ii. 日本語論文の英文化による再掲載を投稿規定に追加した内容の説明があった。すでに1編を英文化して再掲載した。

3) 用語委員会 (大野理事)

2021年度の活動内容について説明があった。

- i. 用語解説を継続して学会誌に掲載する。執筆分担について委員会で話し合った。
- ii. 用語解説 (No.29) を学会誌に掲載した。

4) 将来計画委員会 (神田理事)

今年度も引き続き新規会員獲得のための活動を行っていく。

5) ガイドライン検討委員会 (泉川理事)

- i. 侵襲性カンジダ症に対するマネジメントのための臨床実践ガイドライン作成委員会 (泉川理事)

進捗状況について報告があった。竹末委員長のもと作業が進められており、最終段階に来ている。今後本学会および関連3学会(感染症学会、化学療法学会、臨床微生物学会)にてパブリックコメントを行う予定である。

- ii. 希少真菌症診断治療のガイドライン(仮称)作成委員会(澁谷理事長・掛屋幹事)

掛屋幹事より活動概要、ロードマップが提示され説明があった。2022年4月刊行予定で進めていく。作成にあたりシステムティックレビュー班を編成した。外部評価委員設置を今後検討する。続いて澁谷理事長よりCOI申告と開示およびガイドライン作成のポリシーについて説明があった。

6) 支部・関連学会委員会 (泉川理事)

これまでの活動内容と今後の開催予定について報告があった。COVID-19の影響で開催中止や延期、開催予定が立てられない地域がある。九州中四国支部については2021年の開催予定がなかったが、秋頃に開催する方向で検討されている。

7) 疫学調査委員会 (福田理事)

今年が疫学調査の1年となる。北海道に協力施設がなかったが、1施設協力いただける施設が決まった。これで概ね全国規模で協力施設が集まった。

8) 教育委員会 (杉田理事)

- i. 皮膚真菌症指導者講習会

昨年の第8回は中止となったが、今年の第9回は開催する方針である。

- ii. 他学会との共催シンポジウム開催について報告があった。

・第 32 回日本臨床微生物学会総会・学術総会（2021 年 1 月 29 日～2 月 28 日）

タイトル「侵襲性カンジダ症における薬剤耐性のインパクト」

・第 94 回日本細菌学会総会（2021 年 3 月 23～25 日）

タイトル「真菌と生存空間を共有する微生物から見た真菌学」

iii. 病原真菌の分類改訂

資料作成準備中である。

9) 広報委員会（楨村理事）

学会誌掲載論文の内容（一部抜粋や図表）をホームページに掲載することで、学会誌と WEB との双方向での学会へアクセスが期待できる。編集委員会でも検討いただき今後の課題としたい。

10) 専門医・認定師委員会（原田理事）

審議事項で述べる。

11) 規約検討委員会（澁谷理事長）

報告事項なし。

12) 倫理委員会（原田理事）

報告事項なし。

13) 利益相反委員会（亀井理事）

医学会の COI ガイドライン改定により、学会発表時は自身の COI を読み上げることになっているが、実行されているかどうかは COVID-19 の混乱もあり、実態は把握できていない。この件については規約案を作成して理事会に提案することを検討している。

14) バイオセーフティー委員会（村山監事）

新設となった当委員会の活動概要について説明があった。バイオセーフティーカテゴリー基準の制定と各リスクグループへの真菌菌種のランク付けを目的に活動する。BSL 1 は制定せず BSL 2 と 3 を定める。バイオセーフティーカテゴリー基準およびリスクカテゴリーの菌種を定めた場合に、公開するかどうかは今後の検討課題である。指針として公開するのはどうかなど意見があった。委員会で継続審議とする。

5. 第 64 回総会報告（澁谷理事長）

現地参加者は COVID-19 の影響で少なかったが、オンラインでの参加者が多く盛況であった。次回理事会に決算報告を行う。

6. 第 65 回～68 回総会準備状況報告

1) 第 65 回 (2021 年) 総会・学術集会 (宮崎理事)

開催概要はこれまでの報告と変更はない。テーマは「医真菌学の学際的な発展をめざす」に決定した。

2) 第 66 回 (2022 年) 総会・学術集会 (澁谷理事長)

日時：2022 年 10 月 1 日 (土) ～2 日 (日) or 10 月 15 日 (土) ～16 日 (日)

会場：長良川国際会議場

会長：三嶋廣繁 (愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学)

3) 第 67 回 (2023 年) 総会学術集会 (福田理事)

他学会の動向を見ながら今後日時と会場を決定する。

4) 第 68 回 (2024 年) 総会学術集会 (杉田理事)

会場は京都国際会館を予定している。

7. 関連国際学会・会議に関する報告 (杉田理事)

報告事項なし。

8. ICD 制度協議会報告 (金子幹事)

昨年の申請状況について報告があった。

9. 内保連報告 (山岸幹事：欠席)

澁谷理事長より代理報告があった。

- ・ 2020 年度第 1 回内保連社員総会 (2020 年 10 月 15 日開催) に出席した。
- ・ 医真菌学会から 2022 年度診療報酬改定・第一次提案書を 3 件提出した。2021 年 1 月 13 日 (水) 内保連感染症関連委員会が開催され上記が報告された

10. 医学会・医学会連合に関する報告 (宮崎理事・小川監事)

加盟学会連絡協議会が 2 月 10 日に開催される。宮崎理事が出席予定である。

11. 日本微生物学連盟に関する報告 (亀井理事)

澁谷理事長、亀井理事より日本微生物学連盟からの学術会議に関する声明についての対応と経緯について説明があった。

12. 2021 年度会計中間報告（望月財務理事）

12 月 31 日時点の収支計算書の報告があった。

13. その他

・ AMR アライアンス・ジャパンの会合 AMR 対策を促進させる診療報酬制度の改定

澁谷理事長より報告があった。政策立案の団体であり内閣官房へ提言書を出す機関である。内保連とは別のチャンネルとして診療報酬改定に働きかけが出来るため、内保連の改定案のうちカンジダ・オーリス遺伝子検出・診断法、外来における治療薬物モニタリング（ポリコナゾール）の 2 つをこちらからも働きかけを行った。

（審議）

14. 学会賞、学会奨励賞選考について（澁谷理事長）

学会賞選考委員、奨励賞選考委員長および委員の選出を行う。郵便選挙で行うことが承認された。

15. 第 64 回総会の動画配信の件（澁谷理事長）

ベストシンポジウム、トップアクセスアワードの動画を学会ホームページに掲載することが承認された。Medical Mycology Library に掲載している動画と同様の形式で公開する。公開期間について議論し、内容が古くなった時点で動画を削除したほうがよいなど意見があった。

16. 希少真菌ガイドラインの利益相反の開示方法について（澁谷理事長）

はじめに昨年 10 月 27 日の打合せ会議録が提示され、このうち COI 開示方法については変更となったため記載を訂正した。続いて呼吸器学会のガイドラインにおける COI 開示方法について説明があった。これと同じ方法で COI 開示を行うことが提議され承認された。

17. 会員外委員招聘に関する手続きと処遇（宮崎理事）

外部委員への報酬額について審議した。政府の申合せに記載されている会議出席謝金支払い基準について説明があった。これに基づいて委員就任のみでは報酬は発生せず、会議開催時に交通費は別として日額 2 万円とすることで一同合意した。

18. 各種委員会の議事録（メモ程度）の作成と周知（澁谷理事長）

理事会での議論、審議を深めるため、各委員長においては委員会審議の内容を簡易的なものでよいので議事録を作成いただきたいと澁谷理事長より役員へ要請した。一同これを了承した。

19. 医真菌学会からの「出張講義」(澁谷理事長)

学校や企業などへのアウトリーチ活動について提案があり、承認された。具体的な活動について今後検討を重ねていく。

20. オリンピックが開催された場合を想定したカンジダオーリス対応の具体策(澁谷理事長)

具体策としてホームページで周知活動をするなどが考えられる。楨村理事に対応をお願いすることで一同合意した。

21. 医真菌学会の代表者としての日本微生物学連盟担当役員の選出(澁谷理事長)

杉田理事が指名され、了承した。一同これを承認した。

22. 帝京大学に提出する『BSL-3施設の稼働に関する要望書の提出について』(澁谷理事長)

2021年度第3回メール審議で継続審議としていた本件について再審議をした。審議の結果、要望書の提出はしないこととした。

23. 次期および次々期総会長が役員でない場合に幹事として理事会に出席を依頼する件について

(澁谷理事長)

異論は無く承認された。

24. 第66回総会・学術集会の会期(澁谷理事長)

三嶋次期会長より候補日を2つ挙げられており、日時決定の審議依頼を受けている。皮膚科関連学会の日程を調べてから後日決定することとした。

25. その他

1) 理事会議事録のホームページ公開について(澁谷理事長)

現在は総会前日の理事会議事録を学会誌の1号に掲載しているのみである。他の理事会議事録は公開されていない。審議の結果、理事会議事録は学会ホームページで公開することとした。

2) 女性支援の件(小川監事)

子育て支援、妊娠、出産、育児を前提とした復帰支援、研究支援の3点提案があった。子育て支援では第63回総会学術集会では託児所を開設した実績があるため、運用は現実的である。研究支援においては、真菌培養の手法や培地のレシピなど、このような内容を相談できる環境にないことが多く、動画共有などWeb環境で解決できる方法が提議された。問い

合わせしやすい環境を学会が整えることについて議論し、問い合わせに対応可能な会員のリストなどを公開するなど意見があった。今回の提案を受けて、今後審議を重ねていくこととした。

26. 報告事項での審議事項

1) 用語集検討委員会

澁谷理事長から用語解説を学会ホームページに掲載する提案があった。異議なく承認され、広報委員会で検討することとした。

2) 専門医・認定師委員会

2021年度第4回メール審議でペンディングとなっていた、専門医留保申請に対応する細則の変更について再審議を行い、以下の通り承認された。

現	改定案
専門医規則 細則 1. 本則における専門医認定審査料は10,000円、同登録料は20,000円、認定更新審査料は20,000円とする。	専門医規則 細則 1. 本則における専門医認定審査料は10,000円、同登録料は20,000円、認定更新審査料は20,000円とする。 <u>2. 本則における認定更新の留保が認定された時の登録料は5,000円とし、有効期間は1年間とする。更に1年間留保を申請する時は5,000円の登録料を再度納付しなければならない。</u>

続いて澁谷理事長より以下提案があり承認された。

現	改定案
(専門医資格更新の認定) 第15条 中略 (1) 海外留学 (2) 病気療養 (3) 介護 (4) 出産・育児 (5) 災害(被災・被災支援等) その期間は次回更新期間から差し引かれ、留保期間中は専門医資格を有するものとする	(専門医資格更新の認定) 第15条 中略 (1) 海外留学 (2) 病気療養 (3) 介護 (4) 出産・育児 (5) 災害(被災・被災支援等) <u>(6) その他理事会が特別に認めた場合</u> その期間は次回更新期間から差し引かれ、

る.	留保期間中は専門医資格を有するものとする.
----	-----------------------

3) 希少深在性真菌症の診断・治療指針作成委員会

澁谷理事長より提示された各種真菌症に関する診断・治療のガイドライン作成のポリシーを学会ホームページに公開することが提議され、承認された。

備考：

審議の中で学会ホームページに掲載が決定した事項

- 1) トップアクセスアワードの動画3本
- 2) ベストシンポジウムの動画1本
- 3) ガイドライン作成のポリシー
- 4) 理事会議事録
- 5) ガイドライン作成委員のCOI
- 6) 用語解説

以上

2021年2月3日

議事録署名人

理事長 澁谷和俊

監事 小川祐美

監事 村山琮明